

生活クラブ発！未来につなぐコミュニティ

かつては「班」があり
その中で自然にたすけあいがありました。

子どもがいるから会議に行けないかも
ケガしてちやうど取りにいけないのよ
OK 届ける
お礼どうもまた、また
あんなに楽しかったよ
かたじけなく思い出させてくれたのよ
「除々に」自然に
「おたがいの班」の愛称が「エッコロ」になりました
毎月、掛金を抽出した時に使えるようにすれば？
え〜... お金でするの？
支部委員会にてー

「おたがいの班」の愛称が「エッコロ」になりました
毎月、掛金を抽出した時に使えるようにすれば？
え〜... お金でするの？
支部委員会にてー

「おたがいの班」の愛称が「エッコロ」になりました
毎月、掛金を抽出した時に使えるようにすれば？
え〜... お金でするの？
支部委員会にてー

「おたがいの班」の愛称が「エッコロ」になりました
毎月、掛金を抽出した時に使えるようにすれば？
え〜... お金でするの？
支部委員会にてー

1986年 エッコロ共済スタート！
(現「エコロたすけあい制度」)
うさぎの耳は「エッコロ」の「はいどぞ」の意味

「エッコロ」の「はいどぞ」の意味

困った時、あの手を「サイン」
「エッコロ共済シンボルマーク」

課題は他にも...
「共に生きる地域（まち）」です。
「今回のテーマは、近所へのつながりです。」
「地域の再生を最優先課題として」
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

生活クラブ・東京第5次長期計画会議(2010-2014)
「共に生きる地域（まち）」です。
「今回のテーマは、近所へのつながりです。」
「地域の再生を最優先課題として」
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

歩いていける範囲で地域のつながりを作れないかしら？
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

学習会中

地震！ 大きいよ

2011年3月11日 東日本大地震発生！！

携帯が、つながらない
学校は？
家族と連絡がつかない
停電も！
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

地域でのたすけあいは必要だわ！
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

近所の組合員宅の地図落とし作業
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。
「エッコロ共済」の制度が、マッチングが難しい。

エコロたすけあい制度

組合員どうしが気兼ねなくたすけあいの関係をつくれるようにできたしくみが「エコロ共済制度（現・エコロたすけあい制度）」。

掛け金100円のうち、80円が「組合員どうしのたすけあい」に使われ、20円が「エコロファンド」として生活クラブの地域福祉政策に役立てられている。

「組合員どうしのたすけあい」の部分では、企画参加時の託児や、高齢者や障がいを持つ加入者のサポートなどを行なったケア者にケア金が交付される。また、目の不自由な組合員のために「生活と自治」や「ジョイエス」を音訳したCDを届けるリーディングサービスでは、音訳者に対してケア金が交付される。「エコロファンド」としては、「生活クラブ保育園ほむ」の備品購入などに活用されている。制度自体もルールづくりに組合員が参加することにより、より利用しやすいように改訂を重ねている。

コミュニティの推進

エコロは組合員どうしのたすけあいのしくみだが、個別配送が配達の大多数になると、ケア依頼者とケア者とのマッチングも難しくなっ

第6次長期計画会議にて…

- ① 組合員をひとりとして孤立させない (脱無縁社会に向けて)
- ② ベテラン組合員の登場の場
- ③ リーダーを育てる場
- ④ 組合員以外の地域の人々との繋がり



コミュニティの目標を次の4点とし、コミュニティをまちを構成する組織の単位として位置づけられます。

再びコミュニティの輪が広がりはじめます。

コミュニティリーダーがエコロのコーディネーターに!!



あら〜!!



2012年には 80のコミュニティが誕生



コミュニティの役割

平時

- ・近所での関係づくり
- ・地域での情報共有
- ・非常時を想定したたすけあいのしくみの検討と想定訓練
- ・連絡網づくり

非常時

- ・安否確認・人命救助、避難
- ・炊き出し
- ・配達、支援物資の受け取り

2019年9月には
コミュニティ数430!
15,000人以上が参加しています!!

地域で広がるさまざまなコミュニティ活動



コミュニティは人と出会うことの新しい楽しみを生んでくれる。

「コミュニティ活動はまさに共にたすけあいの活動ですね!」



土谷 理事長 (当時)



法政大学人間環境学部教授 西城戸 誠さん

誰も孤立させない社会・地域の居場所
私らしい暮らし方をめざして
コミュニティを広げましょう!

顔の見える関係性のあるコミュニティは、ケア希望者とケア者をつなぎやすくするという意味で、エコロの有効活用につながる。コミュニティは生活クラブの組織ではあるが、行政や地域の団体などとも関係性を築ける集まりである。組合員活動が活発になることで、コミュニティに活気が生まれ、コミュニティが存在することで組合員活動にも広がりが生まれる。現在、地域でそれぞれの目的が集まり方を持っているコミュニティだが、まち活動との連動やコミュニティリーダーの登場が今後のカギとして期待される。

きた。同じマンションに住んでいてもお互いが組合員だとわからないなどの実態が増えてきたのだ。そのような状況を打開するために、地域で20〜40人くらいの「コミュニティ」が推進されていった。社会背景としても、若者・高齢者の孤立、子どもの貧困、孤独死など、無縁社会の問題が浮き彫りになるなか、2011年の東日本大震災を経て、さらに地域で顔の見える関係性づくりの重要性を感じられるようになっていった。

コミュニティと エコロたすけあい制度